
Topics for Media Studies

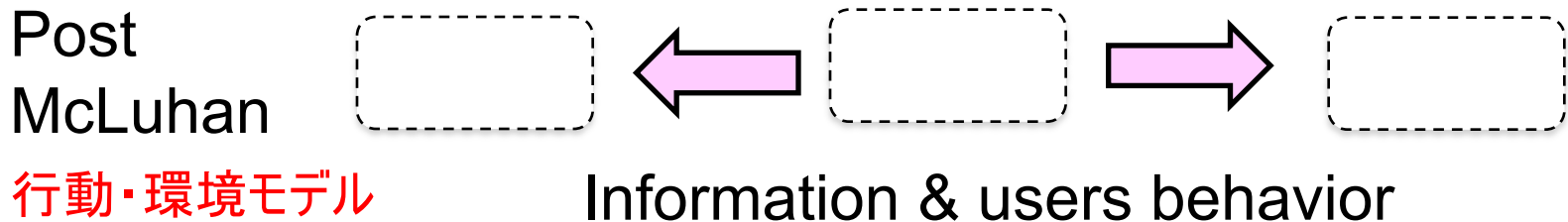
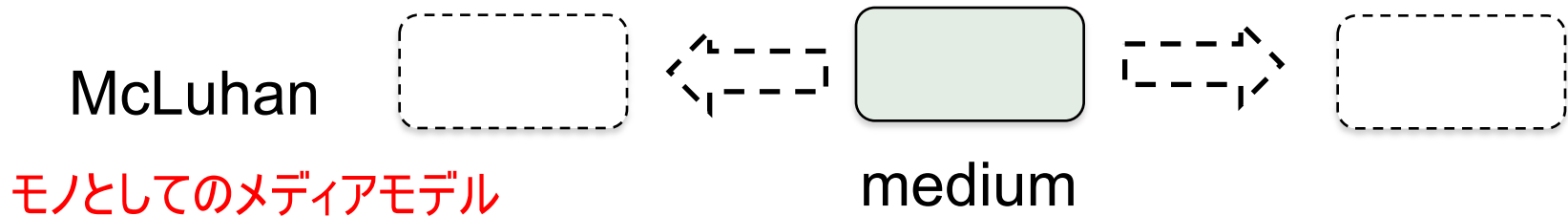
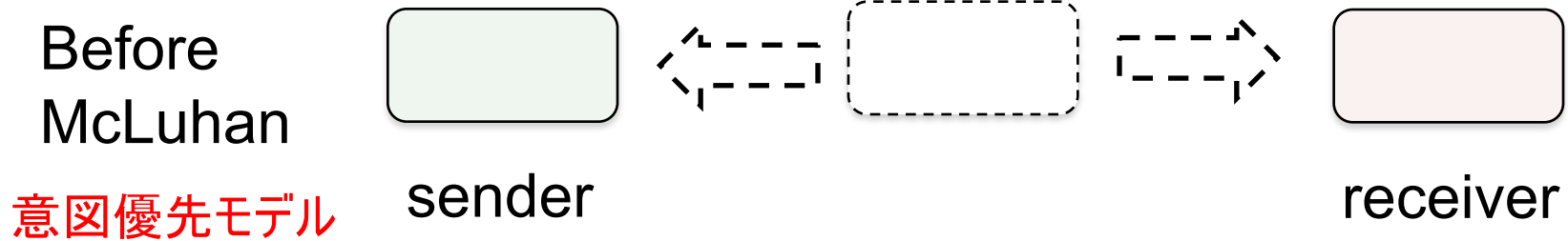
Practical lesson 2

兼子正勝

1. 行為モデルの普遍性

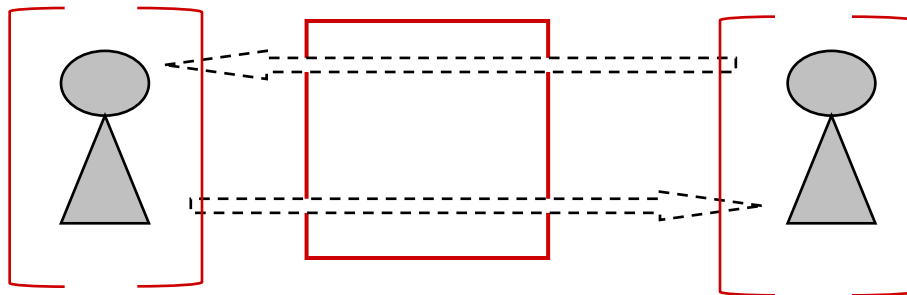
(Manovich “Post-Media Aesthetics” から抽出できるメディアデザインのモデル)

3 models (復習)

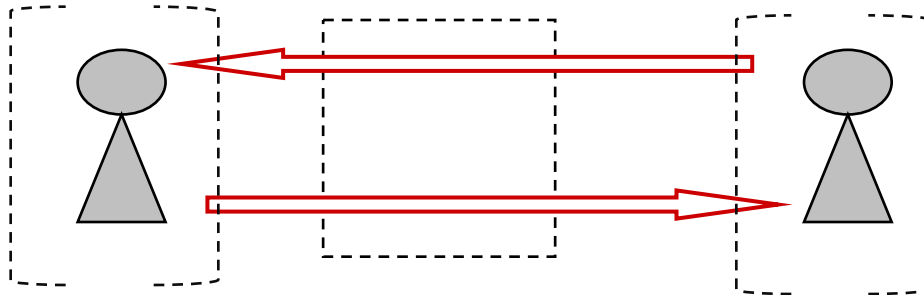


行為モデルの普遍性

1. **モノモデル**: objectが意味を持つ



2. **行為モデル**: objectを通しておこなわれる行為、ないし実現される関係が意味を持つ

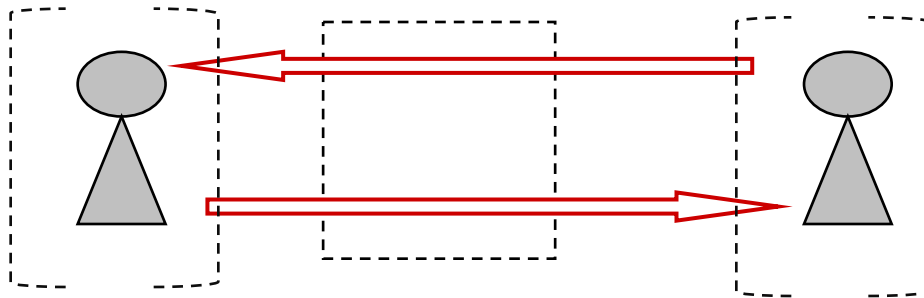


言語の場合

言語行為論

- **John Austin:** *How to Do Things With Words* (1962)
- **John Searle:** *Speech Acts: An Essay in the Philosophy of Language* (1969)

言語は、単語や文のレベルで意味を持つだけでなく、それを「言う行為」が発話者と対話者をおある関係に結びつける。たとえば「こんにちは」は、単語としての意味は空虚だが、「言う行為」は、非敵対性、親密性の関係を相互に確認することになる



精神医学の場合

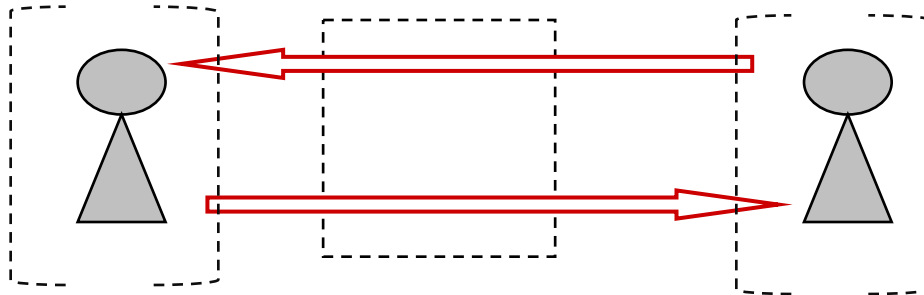
交流分析 (Transactional Analysis)

- **Eric Berne** : *Games People Play*. (1964)

人間の人格は、他者との関係のパターン集合である。理性的な大人としての他者との関係、甘える子供としての他者との関係、養育的な親としての他者との関係、など。

精神的な病は、この関係のゆがみである。

治療は、関係のゆがみを治療することである。

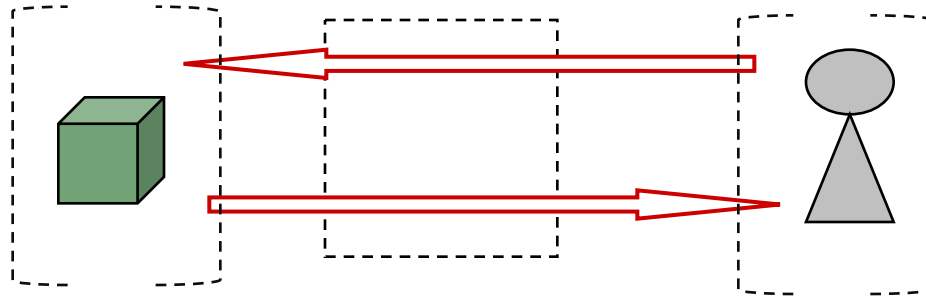


心理学の場合

アフォーダンス理論

- **James Gibson** : The Perception of the Visual World. (1950); The Senses Considered as Perceptual Systems (1966); The Ecological Approach to Visual Perception The Ecological Approach to Visual Perception (1978)

ものの知覚は、そのもの形や色、物理情報を把握によっておこなわれるだけでなく、そのものとの関係における「行為可能性」によってもおこなわれる。たとえば、手で破れそうな紙、通り抜けられそうな隙間。このような場合、「隙間は通ることをaffordする」と言う。



技術分野

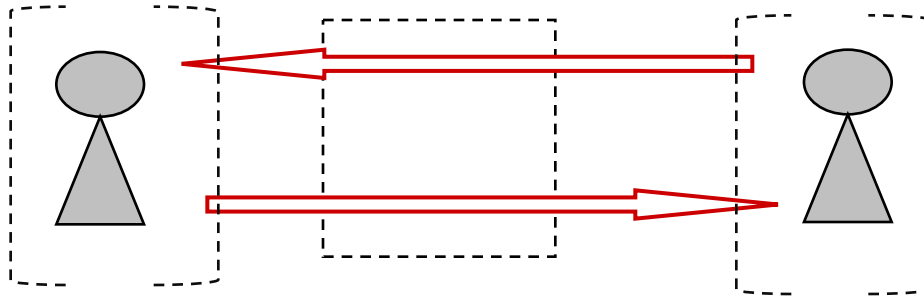
情報行動分析

- Karen Fisher, et.al: Theories of Informations Behavior (2005)

情報行動研究者コミュニティによる総覧

User Experience

- Donald Norman: *The Design of Everyday Things* (2007)



2. 実習課題と最終課題

最終課題予告

2019年度夏学期最終レポート課題

- 各自の研究分野において、事例を挙げ(システム、コンテンツ、サービスなど)
- これを行動モデル(環境モデル)を用いて、
- 対比的に(他の事例と対比させ、ないし同じ事例で解釈を対比させ)、説明論述しなさい

発表

各自2-3枚のスライドを用意し、上記のアウトラインを示す

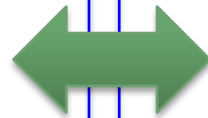
- ・ 研究分野の説明
- ・ 事例の説明

レポート構成例 1

研究分野紹介

研究事例 1

研究事例 2



対比的考察、研究の意味付けの違い、それによる研究の方向性、手法等の違い

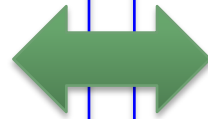
レポート構成例 2

研究分野紹介

研究テーマ

意味付け 1

意味付け 2



対比的考察、研究の意味付けの違い、それによる応用性の違い、実用化手法の違い

実習課題2

物体認知を行動モデルの観点から実現するための、要件を考察せよ

- 情報処理として
- データの集積、共有、分析
- 社会実装の方法

実習課題2(参考)

アフォーダンス理論

- **James Gibson** : The Perception of the Visual World. (1950); The Senses Considered as Perceptual Systems (1966); The Ecological Approach to Visual Perception The Ecological Approach to Visual Perception (1978)

ものの知覚は、そのもの形や色、物理情報を把握によっておこなわれるだけでなく、そのものとの関係における「行為可能性」によってもおこなわれる。たとえば、手で破れそうな紙、通り抜けられそうな隙間。このような場合、「隙間は通ることをaffordする」と言う。

